

令和7年度 片原一色小学校学校運営協議会 第2回会議報告

令和7年9月19日（金）10：30～12：00

於 会議室

1 開会の言葉（教頭）

（参加者）地域代表3名（欠席1名）、保護者代表3名、学校代表5名

2 校長挨拶（校長）

- ・ 学校評価アンケートで、児童から「特別教室にエアコンがなくて死にそうなのでつけてください」という声があった。市による体育館および特別教室への空調の整備が未定のため、地域の運営協議会が所有するスポットクーラーを体育館に2台、理科室と図工室に1台ずつ設置させていただいた。
また、保護者の方々の声を受けて、地域の運営協議会からお借りした冷凍庫に、登下校時等の暑さ対策のクールリングを保管している。
- ・ 学校サポーター（ボランティア）の協力もあり、地域全体で子どもを見守る体制が整ってきている。
- ・ 運動会の練習は朝の比較的涼しい時間帯に行い、運動場にテントを設置して暑さ対策を講じている。
- ・ 子とともに「ゆう&ゆう」の企画「カメラレポート」の取材を受け、9月号に本校のなかよし活動の取組が掲載された。本校の特色である縦割り活動を続けていきたい。
- ・ 今年度は5年生の野外教育活動を旭高原で行ったが、近くに医療機関がない等の課題点があるため、来年度は他の施設での実施も視野に入れ、検討していきたい。

3 授業参観

1年生「図工」、5年生「算数」、6年生「音楽」の授業を参観
スポットクーラー、冷凍庫を紹介

4 協議事項（議長：会長）

（1）教育活動の経過報告について

① 施設・設備について（校務）

- ・ 職員室—給食室間のインターホンの修繕を行った。
- ・ 階段の踊り場がすべりやすかったため、夏休み中に原因となったワックスの剥離清掃を行った。
- ・ 運動場にトラックのロープを張ったが、土が少なくロープにつまずきやすい状態である。運動会までに土を購入し整備する予定である。

② 7月学校評価の集計結果について（教頭）

- ・ 今年度、学校評価の項目を見直した。児童、保護者、教職員で、同じ内容項目を、質問の仕方を変えて実施した。
- ・ 保護者および児童ともに、「あいさつや返事をよくしている」「異学年で仲良く活動している」で高い評価であったが、本校の特色である縦割り活動を通して児童同士のコミュニケーションが活発となり、互いを思いやり助け合う土壌が育まれている所以と考えている。また、「地域とふれあう活動を進めている」の項目でも比較的高い評価をいただいたが、地域との関わりを授業の仲に組み入れた結果と考えている。一方で、「タブレットの活用や教材教具を工夫して分かりやすい授業をしている」の項目には課題が見られたため、タブレットPCを効果的に活用するなど、授業づくりを工夫していきたい。
- ・ 児童の評価について、「家の人と道徳科の授業についてよく話し合っています」の評価が低い結果となった。学校から児童にはたらきかけを行うなどして改善していきたい。
- ・ 教職員の評価について、多忙化解消のためにSSS（スクール・サポート・スタッフ）が2名配置さ

れており、環境整備や教材の準備等をしているが、それでも多忙化解消には至っていない。地域・保護者の方々の理解を得ながら多忙化解消を進めていきたい。

③ 教育活動について（教務）

- ・ 教育活動について、地域・保護者の方々には校外学習や学校サポーター（ボランティア）でご協力いただいている。
- ・ 6年生の全国学力・学習状況調査の結果について、国語・算数・理科で「やや努力を要する」という結果となった。目的や意図に応じて自分の考えが伝わるよう工夫すること等に課題がみられた。児童質問調査について、「読書は好き」「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある」と答えている児童の割合が、全国や県平均よりも高い結果となった。一方で、「将来の夢や希望を持っている」「P C・タブレットなどのI C T機器を使って情報を整理することができる」と答えた児童の割合が、全国平均に比べて低い結果となったため、改善に取り組んでいきたい。
- ・ 体力テストの結果について、5年生女子の数値が少し低い結果となった。立ち幅跳びは、計測場所を体育館から運動場に変えたところ、記録が昨年度より20%上昇した。一方で、身体の敏しょう性や柔軟性、全身持久力が低い結果となった。

～質疑応答～

- ・ いつ体育館にエアコンを整備するかの通知等は学校にきているか。（地域）
⇒まだきていない。小学校については未定とされている。（学校）
- ・ 防災拠点となる場所には早急に空調設備が整備されるべき。いつ頃設置する予定なのか市に確認してはどうか。（地域）
⇒教室については、子どもの学習する場所でもあるため、避難所として使用することは避けたい。体育館へのエアコンの整備については、学校としても市への要望を続けていくため、地域の方々にも協力をお願いしたい。

（2）本年度の学校課題に関する熟議

以下の内容について、教員がファシリテーターとなって、地域と保護者に分かれ、熟議を行った。その後、代表者から熟議の内容について報告し合い、考えを共有した。

- ・ 15年後の子どもたちが、どのような人に育ってほしいか。
15年後の片原一色小学校の地域が、どんな地域になってほしいか。
- ・ めざす子どもの姿や地域の実現に向けた手だてについて。
- ・ 学校・家庭・地域の連携について。

○地域代表グループ

- ・ 15年後の子どもについて、自分の意見をしっかり持ちつつも固持しすぎない。他人の意見をしっかりと聞きつつもそれに流されすぎない大人になってほしい。
- ・ 15年後の地域について、地域のつながりを深めるためにも年1回は地域行事があるとよい。また地元に残って地域の人をつなげてくれる人材が必要。

○保護者グループ

- ・ 子どもたちには、リーダーシップをもちコミュニケーション能力を身につけてほしい。そのためにも家庭が第一であり、たのしい家庭づくりが必要。

（3）その他

次回案内 第3回学校運営協議会 11:00～13:00（給食あり）を予定

5 閉会の言葉（教頭）